

# 本当に知ってる？ 「細胞を培養する方法」 ヒト幹細胞編

創薬研究・再生医学研究セミナー開催のご案内

**開催場所** 東京理科大学薬学部 神楽坂キャンパス

**定員** 各セミナー先着20名（無料）

**申込方法** 理科研スタッフ または E-mail（詳細は裏面に記載）

**セミナープログラム** 画像解析セミナー： 午後3時半～4時  
講演： 午後4時～

**懇親会** セミナー終了後 懇親会開催予定（会費¥4,000-）  
奮ってご参加ください

---

第1回 10月9日（水） 午後3時半～午後5時  
**「ヒト多能性幹細胞の培養で気を付けるべきこと 未分化から分化まで」**  
講師：古江 美保（楠田）  
所属：株式会社 ニコン シニアフェロー

第2回 10月25日（金） 午後3時半～午後5時  
**「ヒト多能性幹細胞／間葉系幹細胞の特性解析」**  
講師：伊藤 弓弦  
所属：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門 幹細胞工学  
研究グループ 研究グループ長（兼担）筑波大学 生命環境系 生命産業科学専攻  
教授（連携大学院）

第3回 12月13日（金） 午後3時半～午後5時  
**「細胞から臓器を創る挑戦ネクスト～どう評価し活用するか」**  
講師：阿久津英憲  
所属：国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所 再生医療センター  
生殖医療研究部 部長

# ■ 講師略歴

## 伊藤 弓弦 (Yuzuru Ito)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

創薬基盤研究部門 幹細胞工学研究グループ 研究グループ長  
(兼担) 筑波大学 生命環境系 生命産業科学専攻 教授 (連携大学院)

博士 (理学) 専門: 幹細胞生物学、発生生物学 東京大学理学部卒 (1994年)、東京大学大学院卒 (2001年)

東京大学理学部、九州大学農学部、JST ICORPプロジェクト等においてアプリアツメガエル胚を用いての形態形成機構研究、国際宇宙ステーション上での宇宙生物学研究を行う。

2008年から産業技術総合研究所に転職し、ヒト多能性幹細胞・間葉系幹細胞の品質管理方法、安定大量培養方法の橋渡し研究を行うと共に、ISOエキスパートとして、再生医療関連技術の国際標準化を進めている。

原著論文 OnumaらBBRC(2013), MawaribuchiらBBRC(2019): ヒトiPS細胞を生きたまま可視化できるプローブを開発、ShengらCytotherapy(2016): ISO/TC276での細胞特性解析国際標準化

## 古江 美保 (楠田)

株式会社ニコン シニアフェロー

歯科医師、歯学博士、日本組織培養学会評議員、日本組織培養学会細胞培養指導士 専門: 幹細胞生物学、発生生物学 広島大学歯学部卒 (1986年)、広島大学大学院卒 (1990年) 広島大学歯学部客員教授

広島大学歯学部付属病院、神奈川県立こども医療センターにて臨床を経験後、神奈川県立歯科大学歯学教室教授。英国シェフィールド大学Peter Andrews教授の元でヒトES細胞無血清培地を開発。帰国後、医薬基盤・健康・栄養研究所 (旧独立行政法人医薬基盤研究所) にてヒト多能性幹細胞の品質評価法の開発、形態評価法の開発、神経幹細胞分化誘導法開発に従事。2017年に株式会社ニコンに転職。

著書 本当を知ってる? 細胞を培養する方法 (じほう)

総説「細胞培養における基本原則」の提案、「培養細胞の観察の基本原則」の提案、「多能性幹細胞培養の留意点」の提案 (組織培養研究)

## 阿久津 英憲

国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 生殖医療研究部部長、東京医科歯科大学連携大学院 NCCHD成育医学 連携教授 (分野長)

医師、医学博士 専門: 幹細胞生物学、発生学、再生医療

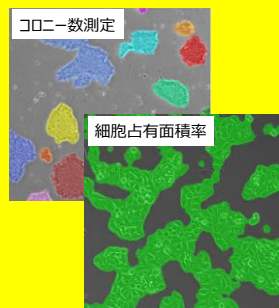
1995年弘前大学医学部卒業後、福島県立医科大学産婦人科へ入局。99年から2年間半、ハワイ大学医学部柳町隆造研究室研究員。2002年福島県立医科大学で博士号を取得、産婦人科助手。その後、米国国立老化研究所遺伝学研究室およびハーバード大学分子細胞生物学部研究員。05年国立成育医療研究センター研究所室長、14年より現職。

内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) 生命倫理専門調査会 (専門委員)、内閣府 ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方見直し等に係るタスク・フォース (構成委員)、日本学術会議「医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方検討委員会」(委員・幹事)、AMED「幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム」プログラムオフィサー (POなど各種専門委員を兼任)

## CL-Quant アドオンモジュール

無染色の位相差画像をもとに、ワンクリックで画像解析可能な製品をご提供しています。

- 接着細胞全般：
  - 細胞占有面積率
- ヒト多能性幹細胞：
  - hPSCコロニー占有面積率
  - hPSCコロニー数
  - hPSCコロニー面積パッケージ
- 神経細胞
  - 神経突起長
  - 神経細胞/クラスター数



## 画像解析サービスのご案内

細胞を染色・ラベルせず、生きたままの細胞を画像解析してみませんか。ここでは画像解析ソフトウェアCL-Quantアドオンモジュールの機能を体験できます。

<https://www.healthcare.nikon.com/ja/cell-solution/trial/>



### E-mailでセミナーお申し込みの場合：

件名：「ニコン培養セミナー参加希望」、本文：お名前、ご所属、参加希望日、懇親会参加の可否を記載の上、[okusawa-s@rikaken.co.jp](mailto:okusawa-s@rikaken.co.jp) 宛にご連絡ください。

主催：株式会社 ニコン

協力：東京理科大学薬学部堀口研究室

お問合せ先：理化研株式会社 東京支社 03-3815-8951 担当 (奥沢、岡森)